



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 持田製薬株式会社

コード番号 4534 URL <http://www.mochida.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 持田 直幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 坂田 中

TEL 03-3358-7211

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	45,323	3.9	7,937	△0.8	8,039	△1.6	4,404	△14.5
25年3月期第2四半期	43,631	2.6	8,004	8.6	8,170	8.5	5,152	9.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 4,797百万円 (6.9%) 25年3月期第2四半期 4,489百万円 (△13.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	216.22	—
25年3月期第2四半期	248.65	—

※平成25年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	120,720	89,674	74.3
25年3月期	120,828	88,542	73.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 89,674百万円 25年3月期 88,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	13.00	—	14.00	27.00
26年3月期	—	13.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	82.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成25年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。26年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。

株式併合を考慮しない場合の26年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は16円50銭(記念配当3円を含む)となり、1株当たり年間配当金は30円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	5.4	14,500	3.4	14,600	2.9	9,300	1.6	460.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成25年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成26年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。

詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	22,600,000 株	25年3月期	22,600,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,413,171 株	25年3月期	2,043,965 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	20,370,285 株	25年3月期2Q	20,722,520 株

※平成25年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成25年6月27日開催の第75回定時株主総会において、単元株式数の変更及び株式併合について承認可決され、平成25年10月1日を効力発生日として、単元株式数を1,000株から100株に変更し、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、株式併合考慮前に換算した平成26年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成26年3月期の配当予想

1株当たり配当金	
第2四半期末	13円50銭(注1)
期 末	16円50銭(注2)

2. 平成26年3月期の通期の業績予想

1株当たり当期純利益	
期 末	92円14銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

(注2) 株式併合考慮前に換算した配当額であります。また、記念配当3円00銭を含んでおります。

(注3) 26年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は30円00銭となります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、平成25年10月30日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	10
(1) [連結]設備投資、減価償却費、金融収支、研究開発費	10
(2) 主要製品の売上高	11
(3) 医薬品開発状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、日銀・政府一体となった金融・財政政策等により円高是正および株価回復が進み、景況感の回復とともに実体経済への効果も徐々に現れてきましたが、依然として先行きが不透明な状況で推移しました。医薬品業界は、社会保障費財源確保の問題を背景とする継続的な薬剤費抑制政策の影響を受け、また企業間競争も加速しており、引き続き厳しい事業環境にあります。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における当社グループ（当社および連結子会社、以下同じ）は前期に引き続き、グループ経営体制の整備、人員の適正化、全社的な生産性の向上への取り組みなど、経営全般にわたる業務改革を推進いたしました。医薬品関連事業では、重点領域の循環器、産婦人科、皮膚科、救急、および精神科にリソースを集中し、スペシャリティファーマを目指して、主力製品を中心とした学術情報提供活動を積極的に展開いたしました。また、ヘルスケア事業は、敏感肌のための基礎化粧品のエキスパートとして事業活動を行い、マーケティングの強化に努め市場開拓を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、453億2千3百万円、前年同期比3.9%の増収となりました。

これを事業別に見ますと、医薬品関連事業は、速効型食後血糖降下剤「ファスティック」等が前年同期を下回りましたが、高脂血症・閉塞性動脈硬化症治療剤「エパデール」、抗うつ剤「レキサプロ」および子宮内膜症治療剤「ディナゲスト」等が前年同期を上回る売上高となり、売上高は433億3千万円、前年同期比3.8%の増収となりました。

ヘルスケア事業は市場が低迷しているなか、抗真菌剤配合シャンプー・リンス等の抗菌ケア製品「コラーージュフルフルシリーズ」が堅調に推移し、売上高は19億9千3百万円で、前年同期比5.6%の増収となりました。

次に当第2四半期連結累計期間の利益面ですが、医薬品関連事業の売上高増に伴い売上総利益が増加しましたが、販売費、および研究開発費を含む一般管理費が前年同期を上回ったことにより、営業利益は79億3千7百万円、前年同期比0.8%の減益、また経常利益は80億3千9百万円で前年同期比1.6%の減益となりました。四半期純利益は、第1四半期連結会計期間に投資有価証券評価損を計上したこともあり、44億4百万円で前年同期比14.5%の減益となりました。

研究開発の状況につきましては、創薬研究所は独創的グローバル新薬の創製を目指して、引き続き、慢性疼痛、糖尿病・肥満の2分野にテーマを集中して活動いたしました。国内外の機関との共同研究等により研究活動の効率化を図り、敗血症治療薬（抗体医薬）、TRPV1拮抗薬の導出活動にも積極的に取り組んでおります。

臨床開発面では、第1四半期決算時から開発段階の変更はなく、肺動脈性肺高血圧症治療剤「MD-0701」は製造販売承認申請中、高血圧症治療用の配合剤「AJH801」（シルニジピン/パルサルタン配合剤）は味の素製薬株式会社が製造販売承認申請中です。また、潰瘍性大腸炎治療剤「MD-0901」の臨床第Ⅲ相試験、「レキサプロ」の社交不安障害の臨床第Ⅲ相試験、「ディナゲスト」の子宮腺筋症の臨床後期第Ⅱ相試験、および「ベセルナ」の尋常性疣贅の臨床前期第Ⅱ相試験をそれぞれ実施中です。

当第2四半期連結累計期間の研究開発費は55億1千4百万円です。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、1,207億2千万円となり、前連結会計年度末比で1億8百万円減少いたしました。

資産の減少は、主に棚卸資産が増加しましたが、受取手形及び売掛金の売上債権が減少したためです。負債・純資産の減少は、主に四半期純利益により増加しましたが、支払手形及び買掛金の仕入債務の減少、配当金の支払および自己株式の取得により減少したためです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、333億5千5百万円となり、前連結会計年度末比で3億6千8百万円減少いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払などがありましたが、税金等調整前四半期純利益などにより43億4千万円の収入（前年同期は48億8百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形・無形固定資産の取得による支出などにより8億7千5百万円の支出（前年同期は11億8千1百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や自己株式の取得による支出などにより38億3千4百万円の支出（前年同期は17億8千8百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、今後も厳しい状況が継続すると考えられますが、ほぼ計画に沿った業績で推移しているため、平成25年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,109	28,739
受取手形及び売掛金	27,784	26,378
有価証券	11,334	11,335
商品及び製品	9,501	9,942
仕掛品	1,387	1,652
原材料及び貯蔵品	3,498	3,689
繰延税金資産	2,909	2,994
その他	1,167	1,516
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	86,692	86,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,124	6,895
機械装置及び運搬具（純額）	2,154	2,174
土地	6,093	6,093
その他（純額）	1,304	1,682
有形固定資産合計	16,677	16,846
無形固定資産	621	613
投資その他の資産		
投資有価証券	10,071	9,344
繰延税金資産	1,932	2,057
その他	4,833	5,608
投資その他の資産合計	16,837	17,010
固定資産合計	34,136	34,471
資産合計	120,828	120,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,284	9,640
短期借入金	875	875
未払法人税等	2,499	2,797
賞与引当金	2,669	2,435
その他の引当金	1,004	900
その他	8,020	7,518
流動負債合計	25,354	24,166
固定負債		
退職給付引当金	5,494	5,754
その他	1,438	1,124
固定負債合計	6,932	6,879
負債合計	32,286	31,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,229	7,229
資本剰余金	1,872	1,872
利益剰余金	87,062	90,027
自己株式	△9,336	△11,563
株主資本合計	86,827	87,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,714	2,107
その他の包括利益累計額合計	1,714	2,107
純資産合計	88,542	89,674
負債純資産合計	120,828	120,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	43,631	45,323
売上原価	15,870	16,594
売上総利益	27,760	28,729
返品調整引当金戻入額	6	9
差引売上総利益	27,766	28,738
販売費及び一般管理費	19,761	20,800
営業利益	8,004	7,937
営業外収益		
受取利息	12	10
受取配当金	98	64
不動産賃貸料	36	35
その他	56	40
営業外収益合計	205	150
営業外費用		
支払利息	19	15
支払手数料	10	10
為替差損	—	18
その他	10	3
営業外費用合計	40	47
経常利益	8,170	8,039
特別利益		
投資有価証券売却益	—	29
特別利益合計	—	29
特別損失		
固定資産除売却損	151	4
投資有価証券評価損	—	1,012
特別損失合計	151	1,016
税金等調整前四半期純利益	8,018	7,052
法人税等	2,865	2,648
少数株主損益調整前四半期純利益	5,152	4,404
四半期純利益	5,152	4,404

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,152	4,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△663	392
その他の包括利益合計	△663	392
四半期包括利益	4,489	4,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,489	4,797

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,018	7,052
減価償却費	1,357	1,303
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△29
固定資産除売却損益(△は益)	151	4
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,012
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△227	△233
退職給付引当金の増減額(△は減少)	313	260
受取利息及び受取配当金	△111	△74
支払利息及び支払手数料	29	25
売上債権の増減額(△は増加)	△1,831	1,406
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,218	△897
その他の流動資産の増減額(△は増加)	227	△289
仕入債務の増減額(△は減少)	744	△644
その他の流動負債の増減額(△は減少)	193	△840
その他	△360	△1,299
小計	7,285	6,755
利息及び配当金の受取額	111	74
利息及び手数料の支払額	△29	△24
法人税等の支払額	△2,559	△2,464
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,808	4,340
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,400	△3,700
定期預金の払戻による収入	3,400	3,700
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,225	△952
有形固定資産の売却による収入	41	—
その他	2	77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,181	△875
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△187	△187
配当金の支払額	△1,546	△1,392
自己株式の取得による支出	△31	△2,226
自己株式の売却による収入	4	0
その他	△28	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,788	△3,834
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,836	△368
現金及び現金同等物の期首残高	27,900	33,723
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,737	33,355

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) [連結]設備投資、減価償却費、金融収支、研究開発費

1. 設備投資

	平成25年3月期	平成26年3月期
第2四半期	782 百万円	1,025 百万円
通 期	1,529 百万円	(予) 2,700 百万円

2. 減価償却費

	平成25年3月期	平成26年3月期
第2四半期	1,357 百万円 (うち、有形 903 百万円)	1,303 百万円 (うち、有形 855 百万円)
通 期	2,861 百万円 (うち、有形 1,954 百万円)	(予) 3,000 百万円 (うち、有形 1,900 百万円)

3. 金融収支

	平成25年3月期	平成26年3月期
第2四半期	82 百万円	49 百万円
通 期	46 百万円	(予) 100 百万円

4. 研究開発費

	平成25年3月期	平成26年3月期
第2四半期	5,221 百万円 (売上高比 12.0%)	5,514 百万円 (売上高比 12.2%)
通 期	12,519 百万円 (売上高比 14.0%)	(予) 12,900 百万円 (売上高比 13.7%)

(2) 主要製品の売上高

主要製品の売上高

(平成26年3月期 第2四半期実績)

(単位：億円)

製 品 名	前 期 平成25年3月期		当 期 平成26年3月期		対前年 同四半期 増減率 (%)
	第2四半期 実績	年間 実績	第2四半期 実績	年間 見込	
高脂血症・閉塞性動脈硬化症治療剤 エパデール	185	372	193	362	+ 4
持続性Ca拮抗降圧剤 アテレック	61	121	60	120	△ 2
抗うつ剤 レクサプロ	21	61	30	101	+ 44
子宮内膜症治療剤 ディナゲスト	35	71	39	79	+ 14
抗ウイルス剤 アラセナーA	11	22	11	22	△ 4
肺炎・ショック治療剤 ミラクリッド	9	18	8	17	△ 7
血液凝固阻止剤 ノボ・ヘパリン	9	18	9	17	+ 2
速効型食後血糖降下剤 ファステック	10	19	7	16	△ 30
自律神経調整剤 グランダキシン	6	13	6	12	△ 8
尖圭コンジローマ・日光角化症治療薬 ベセルナ	4	8	4	12	+ 1
真菌症治療剤 フロリード	6	11	7	11	+ 9
子宮内膜症・子宮筋腫治療剤 スプレキュア	5	10	5	10	△ 10
後発品	21	44	24	63	+ 13
スキンケア製品	18	40	19	42	+ 6

※レクサプロは、自社販売と田辺三菱製薬株式会社への販売の合算

(3) 医薬品開発状況

医薬品開発状況

開発番号(製品名、一般名など) : 導入先など			
開発段階	適応症	剤型	備考
AJH801(未定、シルニジピン/バルサルタン配合剤) : 味の素製薬(株)と共同開発			
承認申請中	高血圧症	経口剤	平成24年10月申請
MD-0701(未定、トレプロスチニル) : 米国ユナイテッド・セラピューティクス社から導入			
承認申請中	肺動脈性肺高血圧症	注射剤	平成25年4月申請
MD-0901(未定、メサラジン) : 英国シャイア・ファーマシューティカルズ・グループ社から導入			
臨床第Ⅲ相	潰瘍性大腸炎	経口剤	
MLD-55(レキサプロ、エシタロプラム) : デンマーク ルントベック社から導入			
臨床第Ⅲ相	社交不安障害	経口剤	<効能追加>
MND-21(エパテール、イコサペント酸エチル)			
臨床第Ⅱ相終了	非アルコール性脂肪肝炎	経口剤	<効能追加>
MJR-35(テイナゲスト、ジエノゲスト) : 独国イェナファーム(ハイエル・ファーマAG)社から導入			
臨床後期第Ⅱ相	子宮腺筋症	経口剤	<効能追加>
MTD-39(ベセルナ、イキモト) : 豪国アイノバ・ファーマシューティカルズ社から導入			
臨床前期第Ⅱ相	尋常性疣贅	外用剤	<効能追加>

・平成26年3月期 第1四半期決算短信(平成25年7月29日公表)より変更なし